

地域の医療連携の中核を担う りんくう総合医療センター

問合先 地域医療連携室 (☎469-3111 Fax469-7929)

泌尿器科

泌尿器科部長 萩野恵三



りんくう総合医療センター泌尿器科における年間入院患者総数は、10年前の平成20年は320人でしたが平成29年は636人と、この10年間でほぼ2倍に増加しました。泌尿器科の診療は排尿機能障害、尿路結石症そして泌尿器がん(膀胱がん、腎がん、前立腺がんなど)の外科的治療を中心に行われます。これらの疾患は65歳以上の高齢者に多いため、入院患者の増加は地域社会の少子高齢化と関係しているものと思われます。昨年、私どもの施設で施行した主な泌尿器科手術は経尿道的尿管碎石術(TUL) 120例、経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR・Bt) 111例、腹腔鏡下腎摘除術&後腹膜鏡下腎尿管全摘除18例、膀胱全摘除術+回腸導管造設術4例、経尿道的前立腺切除術(TUR・P) 13例、前立腺全摘除術(開腹6例など)でした。

この広報をご覧のみなさんの中に、「尿や精液に血が混じっている」「あるいは「尿がとにかく」「尿に近い頻尿」「尿が漏れる」など、排尿に関するトラブルで困っている人がいらっしやいましたら、ぜひ最寄りの泌尿器科を受診していただきますようお願いいたします。

泉州南部

卒後臨床シミュレーションセンター

副院長・同センター長 松岡哲也



泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター(通称:サザンウイズ)は、平成27年2月に泉州南部地域の医療機関の専門職が、集い学べる場として活用されるべく、りんくう教育研修棟の2階に開設されました。開設後3年余りを経過し、平成29年度の教育研修棟全体の利用回数は2,309件、そのうち2階のサザンウイズの利用回数は805件と頻繁に活用していただいています。地域の医療機関職員のみならずに向けて、3年前に開始しましたりんくう一次救命処置コースも毎回盛況に開催させていただきました、これまで106人のみなさんに受講していただきました。若手の医師や研修医には、手術糸の縫合・結紮を含む各種の臨床手技の研修に多く利用していただいています。加えて、二次救命処置コースや新生児蘇生コース、妊産婦急変時対応コース、外傷手術治療戦略コースなど、当センターの利用は泉州地域に留まることなく、近畿地域をはじめ全国からも多くの受講者が来場していただいています。専門的な手技を習得するための高度な研修機材を取り揃えて、若手医療者にとって魅力的な研修環境を整備しています。これらの機材を泉州南部地域で活用し、より安全で高度な医療を提供したいと願っています。

